**■専門部会からの報告**

**資料１**

**令和３年度　相談支援部会　報告書**

|  |
| --- |
| **第２回相談支援部会** |
| 日時：令和３年１１月３０日（火）　午前１０時００分～１２時００分 |
| 会場：品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぽ」地下１階「多目的室」 |
| 概要：１．地域自立支援協議会の報告について |
| 第２回地域自立支援協議会の報告を行った。 |
| 地域移行調査の対象者を区外施設も含め行っていく。 |
| また、重度障害者等の就労支援にむけた需要の掘り起こしとし |
| て、対象者の把握を行う。 |
| ２．住宅サポートについて |
| 住宅課で令和３年度新規事業として実施する「住宅確保要配慮者 |
| 入居促進事業」の紹介を行った。 |
| 区ホームページにおける障害者の住宅に関する情報について、 |
| 分かりやすいものとなるよう工夫していくことを確認した。 |
| ３．地域移行の取り組みについて |
| 現状の実態把握として、区内入所施設および区外入所施設の |
| 入所期間、障害支援区分、手帳種別について実態把握を行った。 |
| また、地域移行に関するニーズ調査について、調査項目等の検討 |
| を行った。 |
| ４．事例検討について |
| フォーマットを利用した事例の提出を依頼した。 |
| ５．研修について |
| 「意思決定支援」をテーマにした研修を実施するにあたり各事業 |
| あてにアンケートを実施した。 |
| ６．その他 |
| 相談支援事業所が増えてきたこともあり、それぞれの事業所の特 |
| 色がわかるように一覧表を作成した。 |
| また、以前作成した「相談支援専門員マニュアル」について |
| 改定を行ったため、内容について次回の部会までに確認してもら |
| うよう伝えた。 |
| 出席）部会長：品川区旗の台障害児者相談支援センター長  　　　部会員：１．品川区旗の台障害児者相談支援センター  　　　　　　　２．品川区南品川障害児者相談支援センター  　　　　　　　３．品川区精神障害者地域生活支援センター  　　　　　　　４．品川区発達障害者相談支援センター  　　　　　　　５．インクル南品川障害者相談支援センター  　　　　　　　６．相談支援事業所スタンドアウト  　　　　　　　７．福は家相談室品川  　　　　　　　８．生活サポートの　ぷらむ  　　　　　　　９．相談支援事業所リワークセンター東京  　　　　　　　10．品川区中延障害者計画相談支援事業所  　　　　　　　11．品川区東品川障害者計画相談支援事業所  　　　　　　　12．品川区大井第二障害者計画相談支援事業所  　　　　　　　13．品川区西五反田障害者計画相談支援事業所  　　　　　　　14．品川区八潮障害者計画相談支援事業所 |

|  |
| --- |
| **第３回相談支援部会** |
| 日時：令和３年１月３１日（月） |
| 会場：区立障害児者総合支援施設（ぐるっぽ）１階「多目的室」 |
| （新型コロナウイルス感染症蔓延のため書面開催） |
| 概要：１．地域移行調査について |
| 障害福祉計画策定にあたり調査を行った「基礎調査」の |
| 内容（施設での生活状況・今後の暮らし方等）について、意見照会 |
| を行った。 |
| ２．研修について |
| 第２回相談支援部会後に行った、意思決定支援の研修内容 |
| アンケートを一覧表にし、各事業所へ内容確認を行った。 |
| ３．相談支援専門員マニュアルについて |
| 第２回相談支援部会での意見をふまえ改定したものについて |
| 確認を行った。相談支援専門員からは、意思疎通支援事業や巡回 |
| 入浴サービス事業といった各種サービスが盛り込まれ、より相談支 |
| 援の際に活用できるという意見があった。 |
| ４．事例検討について |
| 各事業所から提出のあった事例の中から、１つを取り上げ、その |
| 内容について、意見をもらった。事例テーマは「障害のある方が |
| 一人暮らしを希望した時の住まい探しと寄り添った支援体制の |
| 必要性について」とし、相談支援専門員からは、入居前の契約や |
| 保証人の問題、入居時のトラブルへの対応について、どういった |
| 方法があるかグループワークで検討したいとの意見があった。 |
| 事例検討については、令和４年度も引き続き実施していく。 |

|  |
| --- |
| **来年度に向けて** |
| １．地域移行調査について |
| 内容について確定し、障害福祉計画の「基礎調査」の一環として実施 |
| する。 |
| ２．研修について |
| 意思決定支援をテーマに研修を行う。 |
| ３．事例検討について |
| 引き続き事例を通じて、相談支援専門員の連携や知識向上に繋げてい |
| く。 |